

## 令和3年度 学校教育目標・経営方針

### 【学校・教師の使命】

教育は人格の完成を目指し行われる。その任を負う学校は教育の専門機関として子どもたちの健やかな成長を願い、意図的・計画的・組織的に教育活動を実施し、保護者の願いや社会の要請に応えていかなければならない。

また、教師は教育目標具現化を進める組織の一員であり、創意と工夫を生かした教育活動で子どもを育てるプロである。「教育は人なり」と言われるように、学校教育の成否は教師の資質能力によるところが大きい。教師は優れた教育実践者となるよう努力しなければならない。

### 【社会の要請】

予測困難な社会の変化（急激な少子高齢化、人口知能「AI」の飛躍的な進化等）に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力＝「生きる力」を身につけさせたい。（学習指導要領「総則編」から）

### 【本校児童の実態等】

- ・全国や県の学力・学習状況調査の結果、学年間で正答率に差がある。文章を読む力（漢字を含む）や粘り強く取り組む力をつけさせたい。
- ・素直で言われたことには真面目に取り組むが、主体性に欠ける面がみられる。
- ・不登校傾向や配慮を要する児童が、各学年に若干名見られる。
- ・新体力テストの結果、県平均を下回る種目が多い。特に、握力・走力が課題である。

### 【保護者・地域の願い】

- ・全ての子ども達が楽しく通うことのできる学校であってほしい
- ・愛情豊かな（やさしく思いやりのある）児童を育ててほしい
- ・授業（活動）中に思ったことや考えたことを気楽に発言できる環境を整えてほしい
- ・前向きに考えるたくましい力（思考・判断・表現力）を育成してほしい
- ・教職員としての誇りと心のゆとりをもって指導にあたってほしい
- ・教職員の授業力や人間性の向上を期待している

## 1 学校教育目標

本校の子ども達が将来を力強く生き、社会の発展に寄与する有用な人材となることを願い、以下を本校の教育目標と定める。

“気づき、考え、行動する児童を育成する。”

## 2 めざす学校像

“かがやく瞳 はじける笑顔” 魅力と活力のある元気な中丸小学校

学びたい 知りたい  
運動したい 遊びたい  
友達と仲良くしたい  
〇〇に挑戦したい

できた わかった 楽しかった  
仲良くできた ほめられた  
認められている 自信がついた  
居心地がよい

### 3 めざす具体の子ども像

#### (1) 「知育」に関して

- 意欲をもって学習に取り組む子
- 基礎的・基本的な知識・技能、学び方を身につけている子
- 課題解決に必要な力（言語力・思考力・判断力・表現力等）を持っている子

#### (2) 「徳育」に関して

- 正しい判断と正しい行動のできる子
- 互いのよさを認め合い、協力して活動できる子
- 他人の気持ちが分かり、行動できる子

#### (3) 「体育」に関して

- 健康や安全に気をつける子
- 進んで体力づくりに取り組む子
- 粘り強くやりぬく子

### 4 めざす教師像

- ① 健康で明るく、人間性豊かな教師
- ② 教育の専門家として、情熱と使命感をもって指導する教師
- ③ 一人一人に寄り添い、良さを伸ばす教師

### 5 学校経営方針

北本の1番校として本市教育をリードする気概を持ち、創意と工夫にあふれた教育活動を展開して、魅力ある学校をつくる。

#### (1) 基本理念

- ①「チーム中丸小（地域とともにある学校）」として、一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導・支援を行い、学校教育目標の具現化をめざす。
- ②本校の特色ある教育活動（伝統）を堅持しつつ、今日的なニーズに応える教育活動を推進する。

#### (2) 基本方針

- ① 授業で勝負  
児童が生き生きと学び、確かな学力を身につける質の高い授業を行う。
- ② 教育は信頼なり  
児童一人一人のよさを理解し、児童・保護者・地域との信頼関係を深める。
- ③ 絆づくり  
コミュニティスクールとして、「地域とともにある学校」を実現する。
- ④ 環境づくり  
安心・安全で、児童の豊かな情操を養う教育環境をつくる。
- ⑤ 教育は人なり  
教育公務員としての責務を自覚し、人間性と専門的な指導力を向上させる。

## 6 本年度の重点

### (1) 豊かな心の育成

- ・よりよい道德教育の推進
- ・「特別の教科 道德」の授業改善
- ・特別活動の充実
  - たてわり活動の実践
- ・生徒指導・人権教育の充実
  - 家庭との連携を重視したあいさつ指導（あいさつ運動）
  - いじめ防止運動・不登校対策の実践
- ・読書活動の充実
- ・学校ファームでの生産活動
- ・学校応援団との連携

### (2) 確かな学力の向上

- ・効果的・効率的な研修の推進
- ・授業の充実・改善
  - 「わかる・できる・楽しい授業」
  - 「主体的・対話的で深い学び」の追究
  - 指導体制の工夫・きめ細やかな指導（少人数・T T等）
- ・体験活動・言語活動の充実
- ・効果的な補習の実践
- ・家庭学習（宿題を含む）の習慣化
- ・学校応援団（外部人材）の活用

### (3) 健康・体力の向上

- ・体育授業・朝運動の充実（運動好きな児童の育成）
- ・体育的行事の実践
- ・外遊びの奨励
- ・食に関する指導の充実
- ・保健・安全教育の推進
- ・学校応援団（外部人材）の活用